

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：日本救急医学会関東地方会における院外心肺停止患者に対する匿名加工情報(非識別加工情報)を用いた多施設前向き観察研究(2017年) Survey of Survivors after Cardiac Arrest in the Kanto Area in 2017 (略称 SOS-KANTO 2017)

1. 研究の目的

院外心肺停止の患者さんに対する関東地方の救急医療体制を把握し、その構築に寄与することを目的に、日本救急医学会関東地方会は、ウツタイン様式を用いた院外心肺停止多施設共同研究 (Survey of Survivors after Cardiac Arrest in the Kanto Area: SOS-KANTO) を開始しました。2002年9月1日から2003年12月31日まで58施設により院外心肺停止9,592例を集積し検証しました。

その後、10年間に救急医療体制および病院到着後の治療内容が進歩し、院外心肺停止の患者さんの転帰が改善されつつあることが、2012年1月1日から2013年3月31日まで67施設により集積された院外心肺停止16,452例の検証でわかりました。

日本救急医学会関東地方会では同学会に参加する約60施設により過去と同様に約1万例の院外心肺停止の患者さんを調査し、時代背景の変化に伴う転帰の変化と、転帰改善に寄与する因子を検討することを目的とし、研究を行います。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：救急隊により国立成育医療研究センターに搬送され治療を受けた院外心肺停止の全患者さん
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日
- ③ 研究方法：救急隊により国立成育医療研究センターに搬送され治療を受けた院外心肺停止の全患者さんについて、治療を行った際の診療録と検査結果、予後について、下記の<3. 研究に用いる情報の種類>に記載されている情報を、匿名化（特定の個人を識別することができないもの）して、SOS-KANTO事務局が整理し作成した入力フォーマットに、Web入力し提供します。

3. 研究に用いる情報の種類

お子さんの年齢・性別・既往歴・病歴と、治療の内容や経過についての詳細です。

※ お子さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究の成果は学会発表や学術論文により公表する予定です。

5. 研究実施機関

この研究は、SOS-KANTO事務局が主導となり行われる研究です。

国立成育医療研究センターのほか 45 の医療機関が協力して行う多施設共同研究です。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合、下記の連絡先までお申出ください。2024年3月31日までにご連絡を頂けましたら研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科 大西 志麻
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7271）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科 植松悟子
君津中央病院 救命救急センター 北村伸哉